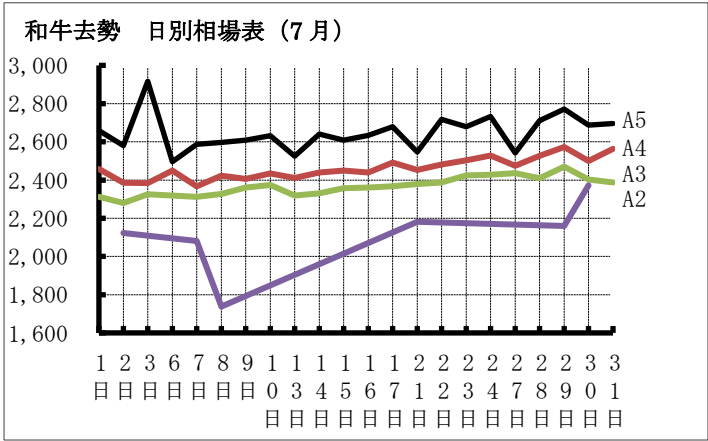


牛肉営業部

＜7 月の相場動向＞

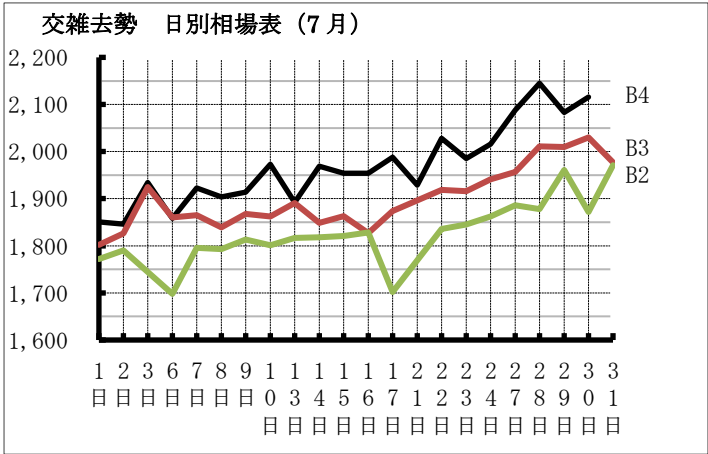
7 月の枝肉相場は中旬まで横ばいだったが、梅雨明けした 7 月 20 日以降は夏休みの行楽需要で引き合いが活性化し、下旬にかけて上昇基調となった。和牛は前月比でほぼ変わらなかったが、前年同月比では大幅に上回り、交雑は前月比でも上回った。要因としては、高値基調が続く相場を見て買い控えていた業者の仕入れが 7 月に入って進んだことに加え、8 月 2 週目のセリが 14 日のみで 1 日しかないことも影響したと考えられる。

また農畜産業振興機構の予測では、8 月の和牛・交雑の出荷頭数は前年同期比約 10%減の見込みで、出回り量の減少から仕入単価と販売単価が連動しないまま 8 月を迎えている。



和牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
A5	2,667 円	+189 円	107.6%	+25 円	100.9%
A4	2,466 円	+295 円	113.6%	+16 円	100.7%
A3	2,371 円	+348 円	117.2%	+10 円	100.4%
A2	2,059 円	+323 円	118.6%	+285 円	116.1%



交雑去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B4	1,963 円	+203 円	111.5%	+116 円	106.3%
B3	1,896 円	+273 円	116.8%	+81 円	104.5%
B2	1,832 円	+349 円	123.5%	+76 円	104.3%

乳牛去勢（月平均）

	加重平均	前年同月比		前月比	
B3	—	—	—	—	—
B2	1,322 円	+88 円	107.1%	+9 円	100.7%

＜8 月の牛肉輸入量予測＞

財務省が発表した輸入通関実績によると、6 月の輸入量は前年同月比 2.6%増の 4 万 3,335 t となり、うちチルドは 2.6%増の 1 万 6,042 t、フローズンが 3.0%減の 2 万 7,293t となった。豪州産はチルド・フローズンともに前年を上回った。米国産はチルドが前年を上回った一方、フローズンは大きく減少した。またカナダ・ニュージーランド産が大きく減少した影響で、その他地域のチルド・フローズンも大きく減少した。

農畜産業振興機構によると 7 月の牛肉輸入数量予測は、前年同期比 13.3%減の 4 万 0,700t（チルド 6.4%減・冷凍 17.2%減）、8 月は 9.5%減の 3 万 9,100t（チルド 1.0%減・冷凍 14.0%減）で予測している。

冷蔵輸入量については円安及び現地価格の高騰など厳しい状況下にあり、7 月・8 月はわずかに前年同月を下回ると予測している。冷凍輸入量については前年同月を大幅に下回り相場高の影響で米国産の輸入減少が見込まれる。

輸入牛肉通関量		6 月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	8,970	7,428	120.8%
	米国	5,625	4,964	113.3%
	その他	1,341	1,723	77.8%
	合計	15,936	14,115	112.9%
フローズン	豪州	12,990	11,253	115.4%
	米国	10,056	11,666	86.2%
	その他	2,802	5,210	53.8%
	合計	25,848	28,129	91.9%

出典：食肉速報

単位：t

＜8 月の全国出荷頭数予測＞

農畜産業振興機構による 8 月の出荷予測頭数は、全体で前年比 95.6%の 7 万 8,900 頭で、品種別にみると和牛は 3.7%減の 3 万 7,100 頭、交雑種は 0.8%増の 1 万 9,300 頭、乳用種は 9.7%減の 2 万 2,000 頭と予測している。

また、東京食肉市場の 8 月のと畜頭数は 6,300 頭（前年比 4.2%減）を予定している。

＜8 月の牛枝肉相場見通し＞

最近の牛肉の消費動向をみると、外食やテイクアウトへの需要は拡大している一方で、全体の家計消費は減少傾向にある。さらに各種物価の高騰により、牛肉からより安価な豚肉・鶏肉への需要シフトも一段と顕著になっている。

等級別の相場では、交雑種は出回り頭数の少なさから各等級とも高値基調が続く見通しだ。一方、和牛については、頭数割合の低い 3 等級・4 等級は需給バランスの良さから堅調に推移する一方、頭数割合の高い 5 等級は量販店での販売状況が厳しいこともあり、伸び悩む展開が予想される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,350～2,800	B4	1,850～1,950
A4	2,300～2,400	B3	1,800～1,850
A3	2,150～2,300	B2	1,750～1,800
A2	2,000～2,150		
乳牛去勢			
B3	1,350～1,400		
B2	1,300～1,350		

豚肉営業部

2026 年 6 月の全国と畜頭数は 128 万 8,532 頭（前年同月比 4.7%増）と前年を上回った。また、6 月の豚肉通関数量は 8 万 6,882t（前年同月比 3.7%増）と前年同月から増加した。内訳はチルドが 3 万 5,881 t（12.0%増）と大きく増加し、フローズンは 5 万 1,001t（1.4%減）と前年同月から微減した。

2025-2026 年の需給量と推定期末在庫						
	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
月	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
6	68,598	83,731	24,109	222,274	68,453	75,606
7	69,871	82,687	22,399	219,105	71,374	84,255
8	63,753	74,022	21,855	216,178	64,151	76,949
9	70,991	76,220	21,545	213,175	71,134	79,223
10	81,313	84,875	21,943	209,457	80,789	88,593
11	76,416	65,268	22,199	196,931	75,962	77,794
12	82,651	68,313	22,928	182,068	81,767	83,176
1	80,664	83,073	22,910	190,177	80,567	74,964
2	73,952	65,442	23,465	186,194	73,310	69,425
3	78,207	76,792	24,895	186,013	76,584	76,973
4	77,021	103,288	23,825	193,172	77,942	96,129
5	69,296	93,571	23,667	210,959	69,305	75,784
6	72,158	86,816	22,550	204,142	73,118	93,633
比	105%	104%	94%	93%	107%	121%

出典：農畜産業振興機構

比：最終月の前年同期比

単位：t

6 月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	11,186	101.8%	デンマーク	4,689	176.8%
カナダ	19,712	116.7%	スペイン	3,422	19.6%
メキシコ	4,979	119.9%	メキシコ	3,113	61.9%
			アメリカ	9,117	108.4%
			カナダ	6,188	170.0%
合計	35,881	112.0%		51,001	98.6%

単位：t

＜7 月の豚取引の推移＞

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1 日	42,200	779	765	634
2 日	61,100	775	766	632
3 日	56,200	838	817	960
6 日	58,100	777	752	941
7 日	62,600	798	790	978
8 日	53,900	811	780	741
9 日	61,200	804	786	878
10 日	58,300	778	750	939
平均	56,700/日			838/日

7 月に入り、枝肉相場は 700 円台後半から 3 日には 800 円台まで急上昇した。末端消費は鈍いものの、全国と畜頭数の減少傾向による供給不足が価格高騰の要因とみられる。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
13 日	59,600	749	738	732
14 日	61,600	758	748	954
15 日	54,000	752	733	966
16 日	62,200	741	727	877
17 日	60,600	698	653	997
21 日	65,900	668	645	801
22 日	64,100	644	620	920
平均	61,143/日			892/日

全国的に猛暑日が増え、出荷キャンセルや死亡事故が目立ち始めた。夏休みで学校給食が止まり、スソ物の引き合いも弱まったことで相場は 600 円台の落ち着いた展開となった。

	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23 日	63,600	636	615	844
24 日	59,700	652	624	1,047
27 日	60,700	650	626	979
28 日	62,800	691	681	858
29 日	57,100	705	670	743
30 日	60,200	682	663	816
31 日	58,000	688	648	912
平均	60,300/日			886/日

連休明けの補充手当ても見られず、末端消費は鈍い状況が続いた。相場はこの時期としては予想外に軟調な展開となった。

＜8 月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による令和 8 年 8 月の肉豚出荷予測では 107 万 9,000 頭（前年同月比 91.6%）と予測している。東京食肉市場の 8 月集荷予定頭数は 1 万 6,000 頭、1 日あたりでは約 888 頭を見込んでいる。

農畜産業振興機構によると 8 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 8 万 6,600t（同 117.0%）、内訳は冷蔵輸入量が 3 万 6,200t（同 119.3%）、冷凍輸入量は 5 万 400t（同 115.4%）と予測。

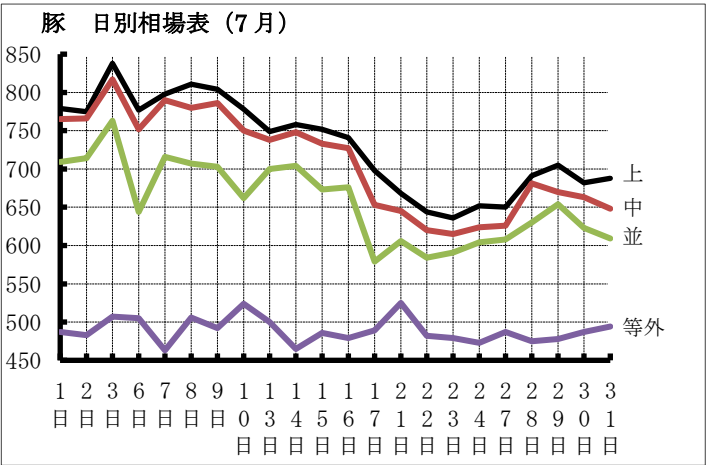
冷蔵品は、輸入豚肉への堅調な需要を背景に米国・カナダ・メキシコいずれも輸入量の増加が見込まれ、前年同月をかなりの程度上回る予測。3 カ月平均でも前年同期をかなり大きく上回るとみられる。

冷凍品は、アフリカ豚熱の発生に伴う輸入一時停止措置の影響でスペイン産が減少する一方、代替先となるブラジル・米国・欧州各国からの輸入増加が見込まれ、前年同月をかなり大きく上回る予測。3 カ月平均でも前年同期をかなりの程度上回るとみられる。

8 月は盆休みの帰省で地方を中心に需要が高まるものの、物価高による消費者の生活防衛意識の高まりから、消費の盛り上がりには期待できない。売れ筋も中部位の売れ行きは鈍く、スソ物・ひき材中心の引き合いが続くとみられ、盆休み明けに一部補充買いが入ったとしても、相場は大きな上げにはならないと予想される。

供給面では、各地で 40℃に迫る猛暑の影響で発育不良が生じ、出荷キャンセルが増える可能性もある。お盆休み以降も上場頭数は減少傾向が続くと予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は 680 円前後、中物平均価格 660 円前後の展開と予測する。



東京都港区港南2-7-19
東京食肉市場株式会社
TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127
URL <http://www.tmmc.co.jp/>